

ASIS 支援プログラム

2025 年 1 月 1 日改訂

理念

楽しいことに取り組む中で、自己理解と他者理解を深め、お互いを価値ある存在として尊重し、それぞれが自分らしくいられるための方法や環境を知ることが大事にします。

「なんとかなる」「自分は大丈夫」という肯定感をもって次のステージに進めるように、サポートします。

支援方針

・楽しむことから学べるようにします

アセスメントをもとに、まずは安心して過ごせる環境を考え、作ります。楽しむ中で気づきを大事にし、課題を自分で見つけ、学びたい・解決したいと思う気持ちを作ります。

「失敗してもまたやってみよう」「あんな風になりたい」と思えるような環境作りを大事にします。

・実践の中で学べるようにします

同年代の児童とのグループ活動がメインです。練習から入ることはせず、活動の中で起こるできごとから個々のニーズを引き出し、実践の中でスキルアップできるように進めます。

本人支援

以下の 5 領域を基本とし、グループ活動を中心に、必要であれば個別対応も取り入れたプログラムをご用意しています。

【健康・生活】

自分でプログラムを選び、スケジュール管理をするところから始めます。

時間管理、生活リズムなどで課題が出た場合は、対策やヘルプの出し方を考えられるように進めます。

【運動・感覚】

運動系に加え、eスポーツ・パソコン操作などさまざまなプログラムにおいて、個々がもつ運動や感覚（体幹・手指操作など）をスキルアップできるように支援します。

特性上苦手な部分においては、関係機関とも連携をとりながら、進めます。

【認知・行動】

すべてのプログラムを SST（ソーシャルスキルトレーニング）の場ととらえ、活動する中で起こるできごとをもとに自己理解・他者理解を深めます。

行動障害においては、関係機関と連携をとり、対策を立て進めます。

【言語・コミュニケーション】

「誰かと楽しく話したい、関わりたい」というニーズを引き出すことを大切にします。

それぞれに合ったコミュニケーションの方法を探り、自己理解・他者理解を深めつつ、表現の引き出しを増やせるよう支援します。

【人間関係・社会性】

「誰かといい関係を築きたい」というニーズを引き出すことを大切にします。

まずは職員と信頼関係を築き、安心して過ごせる環境をつくります。

自分がやりたいこと、好きなことを通して友達と関わり、その中で自己理解・他者理解や社会性が育つように進めます。

家族支援

・日々の情報共有

保護者の方に日々の活動の様子を伝え、また、ご家庭の様子を共有いただくことで、子どもとの関わり方を一緒に考えられるように進めます。

・気軽に相談できる環境作り

保護者のために個別対応の時間も設けています。子育ての悩みや相談に応じていきます。

・親カフェ、保護者会、研修の開催

保護者同士で話し合いができる場を提供し、同じような子育ての悩みに共感したり、研修などで子育てについて学べる機会を作っていきます。

・保護者やきょうだいが参加できるプログラム

保護者やきょうだいも参加できるプログラムを用意し、子供たちが楽しんでいるものを知ってもらいます。

移行支援

進路や移行先の選択について、各関係機関や学校と連携をとりながら、本人やご家族様への相談援助を行います。またLST（ライフスキルトレーニング）などを通し、ライフステージにあったスキルを楽しみながら身につけられるよう進めます。余暇の過ごし方につながるプログラムも積極的に取り入れています。

地域支援・地域連携

学校、医療機関などと情報連携をし、支援方法や環境調整等に関する相談援助等を行います。参加できそうな地域のイベントなどがあれば、情報共有を行い、参加の機会も作っていきます。

職員の質の向上に資する取組

事業内における研修を定期的実施し、外部研修にも積極的に参加することで、職員の質の向上に努めます。

主な行事・イベント

季節イベントや、外出イベント、eスポーツやレクリエーションの大会など、日々のプログラムで得たスキルを生かせるイベントを定期的開催しています。子どもたちが企画し、運営するイベントもどんどん取り入れています。

【営業時間】 10:00～19:00

【送迎】 どうしても必要な場合、送迎可能範囲の方を対象に実施